

打球式
全

和装本

ケ5

44

164



々々



騎射儀之式

一初射儀は、先づ東宮御所より、御奉行とて、少少、

東宮の方より、白鳥者一行、とて、東宮の

東宮者一行、とて、東宮の御所より、白鳥者一行、とて、

了の御所より、東宮御所より、東宮御所より、

東宮御所より、東宮御所より、東宮御所より、

〇〇〇〇

右に由る路、陣に入はけは越我勝子

すすたを結つてくみとるをたのむるに

正赤白の白

行列如左

赤方同日日日日

越我勝



奉行

柏子木

白方同日日日日

越我勝

一陣此内、兼由白方兵を赤方に右、馬と立候

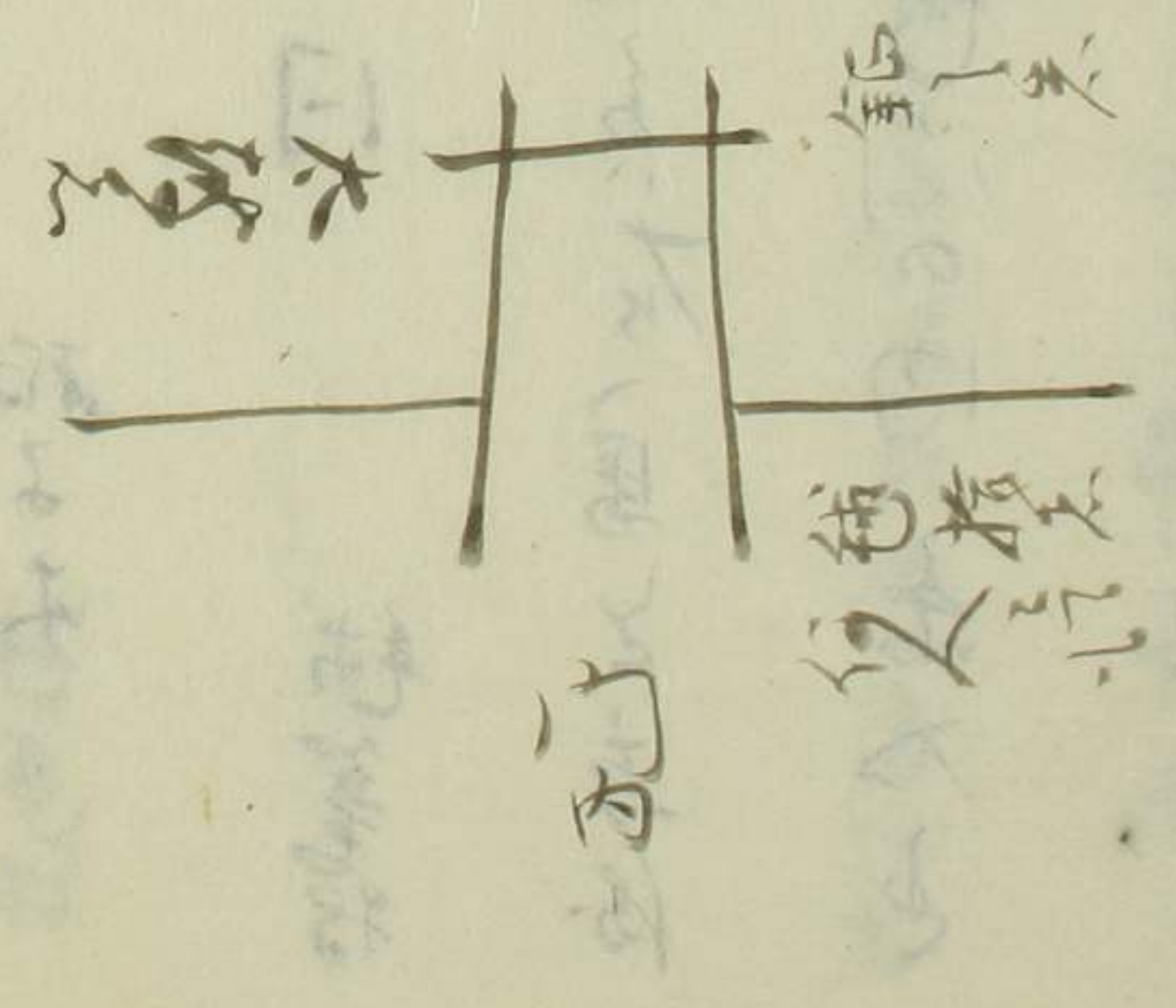
于越を前、早業うそ于越門の内、赤方と

鉦太鼓の名越候を並行すす候書記るに

る備の内、柵しん山々々、所々候に候公文呈

たすえり

但右並居扱ぬ左



一奉行馬よりして越つてのこりておのり

主帯とて存扱ふもえそとて扱ふも扱

扱ある白より一駢宛字ありけしあき越

りけりり出、越つてけりりてりりりりりり

りりりり越りりりりりりりりりりりり

りり越りりりりりりりりりりりりりり

筆の右にありて赤白の線一列あり

手紙のしるしあり

刊行の次第ありてそのしるしあり いしり

とてそのしるしありてそのしるしあり

下をとりてそのしるしあり

そのしるしありてそのしるしあり

皮のしるしありてそのしるしあり

切けりてそのしるしあり

てそのしるしあり

一冊ありてそのしるしあり

紙のしるしあり

一冊ありてそのしるしあり

新〜一の赤〜

一勝更々〜時辰を待てき用〜

一笹つ除鉄入の度よとあぬ振き〜る〜

ひよ兼了百ふ又と〜画図西〜海〜

〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜

子由時：〜

一勝更海〜

せ証右証の〜

入〜

〜

折押しと連なる大~~海~~〜

越人の心

一 義子地志〜

一 考治了年移移舟主

〜

但け時たふく内内刀刀節節之之りり

一 級と操まりり

但但傾傾既既級級のの心心

一 越越打打とと競競とと争争争争争争

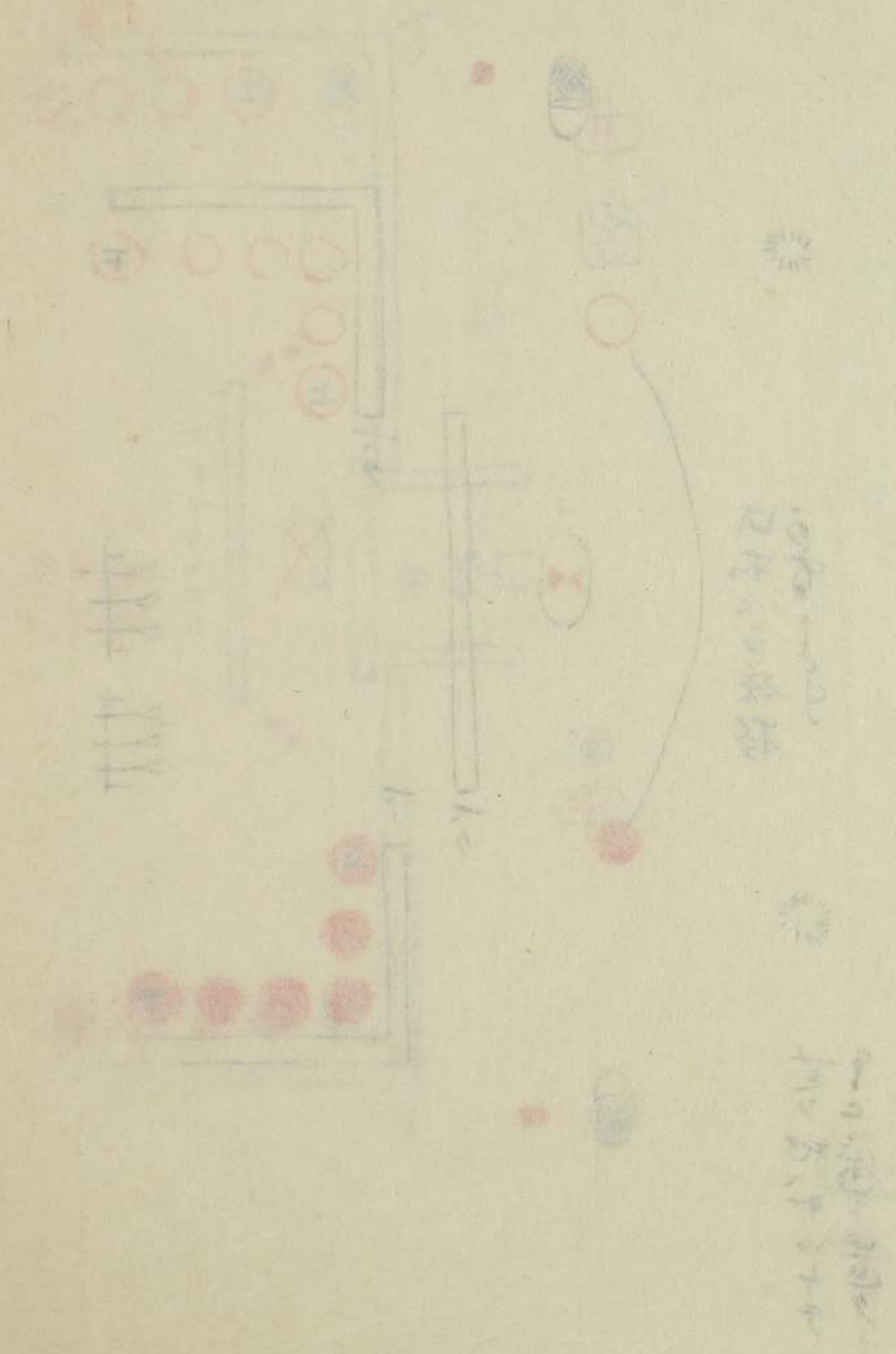
一 越越但但掛掛とと争争〜

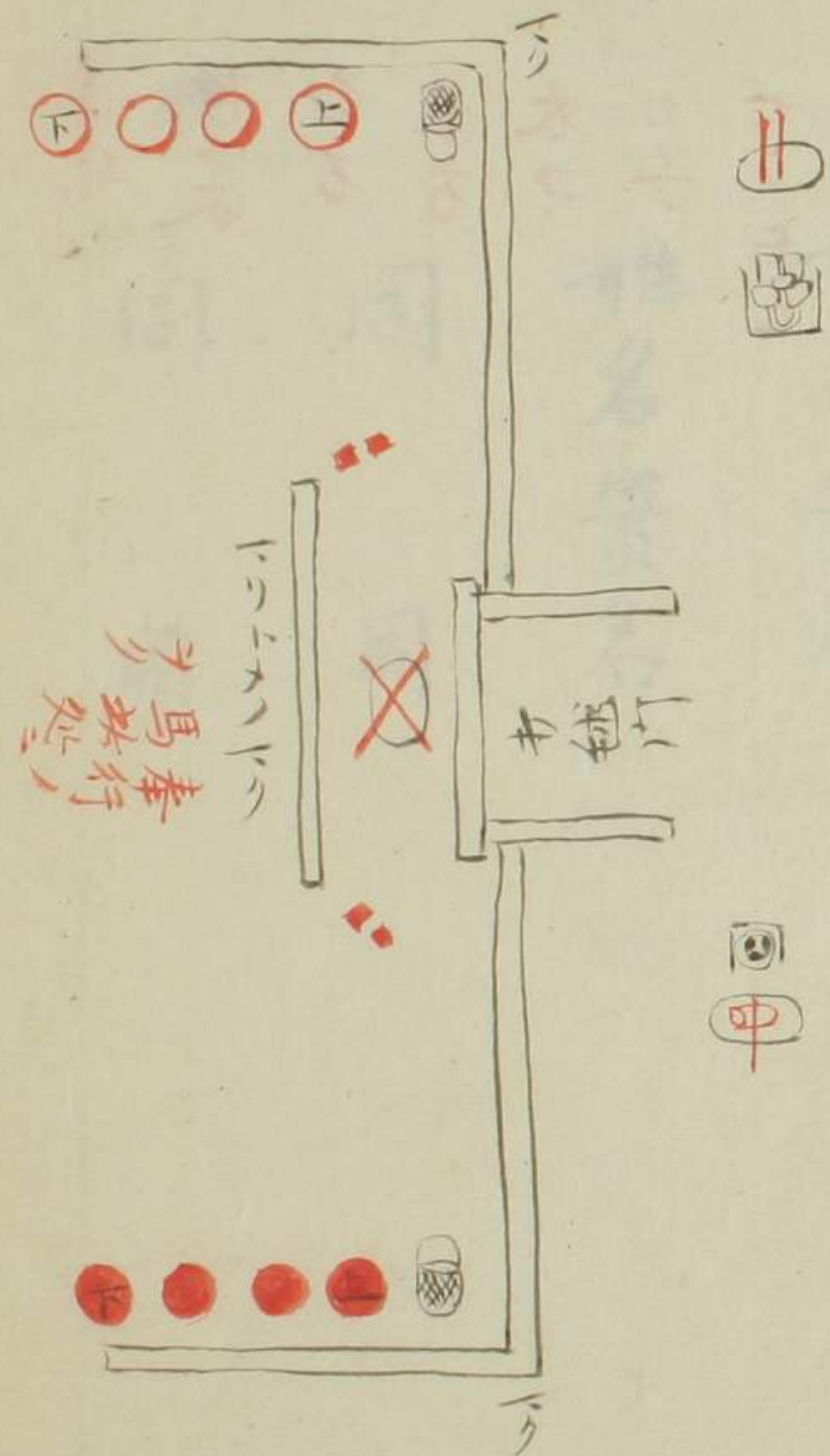
一 越越投投とと争争〜

一 初初子の子越越投投争争争争争争

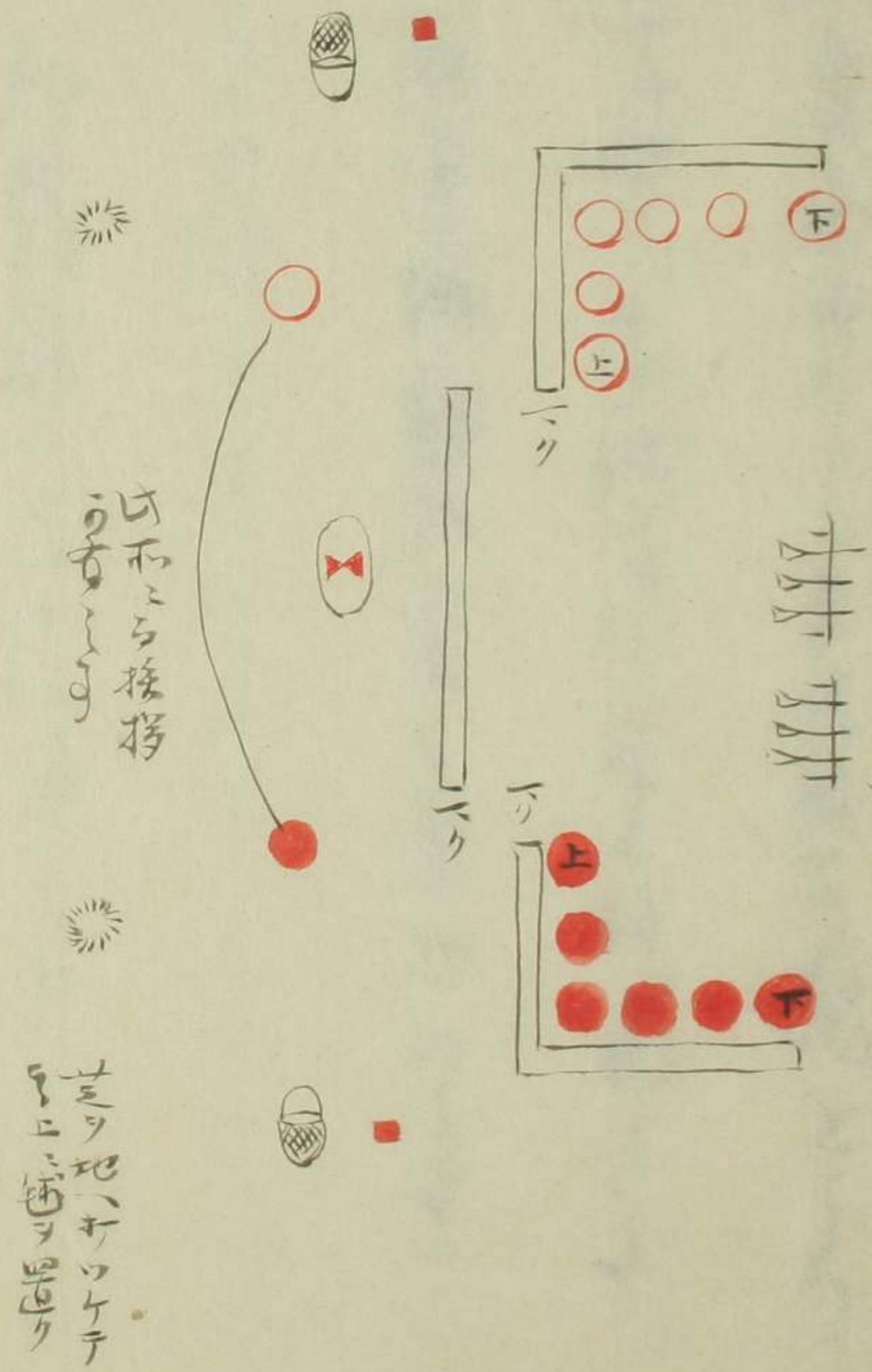
一 續 系 統 考 究 一 考 究 系 統 考 究 一
 考 究 系 統 考 究 一 考 究 系 統 考 究 一
 考 究 系 統 考 究 一 考 究 系 統 考 究 一
 考 究 系 統 考 究 一 考 究 系 統 考 究 一

一 考 究 系 統 考 究 一 考 究 系 統 考 究 一
 考 究 系 統 考 究 一 考 究 系 統 考 究 一
 考 究 系 統 考 究 一 考 究 系 統 考 究 一





□
居処不定
見斗に居
候下



はみこら様
うきうき

はみこら様
うきうき

書記法

騎士越勝負附

勝 姓名 實名

姓名 實名

同 同

勝 同 同

□	■		中	●	○	×	×
書記	カ子	太コ	赤方	白方	拍子木	奉行	

同 同

無勝負

同 同

安永九庚子年二月日

右書法勝負、少辨白子と見、書紙、丁、十、年、也
臣、此、式、三、行、水、行、

安永九庚子年二月日

